

平成 28 年度の流域連携テーマの活動成果

1. 流域連携テーマ

流域連携テーマと解決手法を以下に示す。

<テーマ>	<解決手法>
ごみ・流木	海部会 WG を中心に実施するごみ・流木に関する検討のうち、「ごみマップ」をベースにして成果を公開
土砂	矢作ダムの土砂を海へ運ぶ「砂の駅」構想について、イベントを実施するとともに、流域圏としてのしくみを形成
木づかい	山部会 WG で検討されている「木づかいライブ・スギダラキャラバン」や「流域ものさし」の製作と、このプロジェクトを基軸とした、次世代を担う子供たちも巻き込んだ取り組みの展開

2. 平成 28 年度の活動成果

ごみ・流木

- ・ごみ・川ごみ問題について全国的な活動を実施している一般社団法人 JEAN および全国川ごみネットワークを招き、ごみ問題に関する最新の知見(プラスチックごみの被害状況、生態系への影響等)について説明いただき情報共有を行った。(第 32 回海部会 WG)
- ・関係者が協働して調査、検討する場としてのモデル河川に矢作川を候補にしたいとの要請があり、今後話し合っていくこととした。(第 32 回海部会 WG)
- ・愛知県が取り組むごみ学習プログラムの内容について情報共有を行った。(第 33 回海部会 WG)
- ・河川愛護意識(ゴミ問題への理解・草刈りや清掃イベントの実施など)向上が期待される広域サイクリングロード構想について、整備・利用にあたっての意見交換を行った。(第 36 回川部会 WG)
- ・奥矢作森林フェスティバル(2016. 7. 16 開催)において、流域圏懇談会として「三河湾の魚介類の紹介とふれあいの場」のブースを出展した。展示には多くの親子が集まり、子ども達は実際に三河湾の生き物を手に取りながら、魚介類の名前や特徴などを学んでいた。



プラスチックごみ問題の提供資料表



カードゲーム形式のごみ学習教材

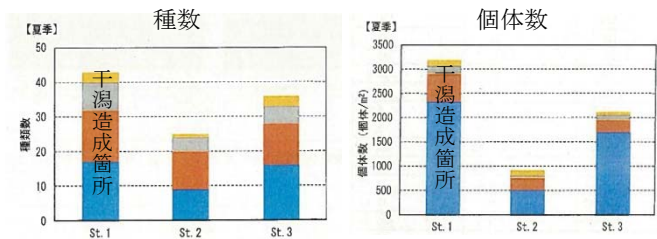


三河湾の魚介類とのふれあいの場の提供

土砂

- ・ 総合土砂管理における給砂実験について勉強会を実施した。(第 37 回川部会 WG、第 33 回海部会 WG)
- ・ 神奈川県山北町における森づくりによる水源環境保全について現地を見学し、森林・ダム・土砂の勉強会を実施した。(山部会 2017. 1. 28 実施)
- ・ ダム砂による造成干潟（東幡豆、西浦）のモニタリング調査結果について良好な成果があったことについて情報共有した。(第 30 回、第 32 回、第 33 回海部会 WG)
- ・ 河口部の浚渫や上流域からの土砂供給の減少により失われた干潟・ヨシ原の再生事業の干潟について、西浦試験区での勉強会を実施し、情報共有を行った。(第 32 回海部会 WG)
- ・ 「砂の駅」イベントへの活用が可能となる広域サイクリングロード構想を検討するにあたっての意見交換を行った。(第 36 回川部会 WG)

■ その他 ■ 節足動物門 ■ 環形動物門 ■ 軟体動物門



東幡豆干潟造成箇所および既存干潟における底生動物生息状況の違い



広域サイクリングロード構想に関する意見交換

木づかい

- ・ 奥矢作森林フェスティバル (2016. 7. 16 開催) において、流域圏懇談会として「動く木のおもちゃの展示」、「根羽スギを使ったペンダントづくり」のブースを出展した。展示には多くの親子が集まり、木のおもちゃを使った遊びやペンダントづくりを楽しんでいた。根羽村森林組合では、木づかいに関するイベントを年間 30 箇所以上開催した。(木づかいに関する情報 <http://nebaforest.net/mono/mono.html>)
- ・ 矢作川流域に生育する樹木から作成した「流域ものさし」の活用方法 (矢作川流域の名刺としての利用等) について、意見交換を行った。(第 35・37 回山部会 WG)
- ・ 第 6 回全体会議において「流域ものさし」の意義や活用方法について提案を行う。(2017. 2. 24 実施)



動く木のおもちゃの展示



ペンダントづくりの様子



流域ものさし (試作品)